

4 3 男女共同参画センター「フチャール」			担当課 多様性社会推進課
しゅん工年度	平成 6（1994）年度	延床面積	1, 6 5 6 m ²
課題	・ 利用者数の増加や稼働率の向上について、方策を再考する必要がある。 ・ 建築後28年が経過し、施設の老朽化が課題となっている。今後、施設の大規模改修等を検討していく中で、市民ニーズや利用状況を踏まえ、必要な機能を整理する必要がある。		
今後の方向性	・ 施設の大規模改修等の時期を見据え、市民ニーズや施設の稼働状況などを踏まえた必要な機能の整理や、施設の在り方の見直しを行う。 ・ 機能の整理や施設の在り方の見直しを踏まえて、計画的に施設の維持管理を行っていく。 ・ 利用者数や歳入の増加に向けて、施設全体の有効的な活用や、事業の効果的な実施について検討する。		

第3次推進プランの取組（令和4年度～令和7年度）				
取組内容	◆設備の老朽化による大規模改修が必要となることを踏まえ、適切な施設の機能や規模など、施設の在り方について検討する。 ◆効果的な事業の実施に向け、施設管理及び運営手法を検討する。 ◆更なる稼働率の向上に向けた方策を検討・実施する。			
スケジュール	R 4	R 5	R 6	R 7
	○周辺公共施設との複合化を見据えた大規模改修に向けて、施設の機能や規模に関する今後の在り方についての検討	▽継続	▽継続	●検討に基づく方向性の決定
	○効率的な施設管理及び運営手法について検討	○取組の実施及び評価	○評価に基づく修正及び新たな取組の検討	○検討に基づく取組の実施
	○稼働率の向上に向けた方策の検討	○取組の実施及び評価	○評価に基づく修正及び新たな取組の検討	○検討に基づく取組の実施
期待する主な効果	◆効率的かつ効果的な施設の活用 ◆利用者数や歳入の増加 ◆市政情報の提供による市民活動への寄与			

●進捗管理表

取組年度			令和4年度上半期	令和4年度下半期	令和5年度上半期	令和5年度下半期	令和6年度上半期	令和6年度下半期	令和7年度上半期	令和7年度下半期
進捗評価			○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	○：計画通りに進んでいる	
取組項目	周辺公共施設との複合化を見据えた大規模改修に向け、施設の機能や規模に関する今後の在り方の検討	実績	設備の老朽化による大規模改修が必要となることを踏まえ、適切な施設の機能や規模など、施設の在り方について検討を行った。	設備の老朽化による大規模改修が必要となることを踏まえ、適切な施設の機能や規模など、施設の在り方について検討を行った。	設備の老朽化による大規模改修が必要となることを踏まえ、適切な施設の機能や規模など、施設の在り方について検討を行った。	設備の老朽化による大規模改修が必要となることを踏まえ、適切な施設の機能や規模など、施設の在り方について検討を行った。	設備の老朽化による大規模改修が必要となることを踏まえ、当施設管理組合で作成する施設全体に係る大規模修繕計画が具体的になれば、時期に合わせて検討をする。	設備の老朽化による大規模改修が必要となることを踏まえ、当施設管理組合で作成する施設全体に係る大規模修繕計画が具体的になれば、時期に合わせて検討をする。	周辺の公共施設とは機能的に異なるため、今後も男女共同参画推進のための拠点施設として同規模で存続する方向で、第三者評価機関で協議した。	
		予定	引き続き、改修に向けて適切な施設の機能や規模など、施設の在り方について検討する。	引き続き、改修に向けて適切な施設の機能や規模など、施設の在り方について検討する。	引き続き、改修に向けて適切な施設の機能や規模など、施設の在り方について検討する。	引き続き、改修に向けて適切な施設の機能や規模など、施設の在り方について検討する。	引き続き、改修に向けて適切な施設の機能や規模など、施設の在り方について検討する。	引き続き、改修に向けて適切な施設の機能や規模など、施設の在り方について検討する。	第三者評価機関での協議やこれまでの課内での検討結果を踏まえ、施設の今後の方向性を決定する。	
	効率的な施設運営及び運営手法について検討	実績	男女共同参画推進協議会の施策の第三者評価項目として男女共同参画センター「フチャール」の運営について検討を行った。	男女共同参画推進協議会の施策の第三者評価項目としてフチャールの運営について検討を行い、協議会から答申書を受理した。	男女共同参画推進協議会の施策の第三者評価項目としてフチャールの運営について検討を行った。	男女共同参画推進協議会の施策の第三者評価項目としてフチャールの運営について検討を行い、多様な働き方、駅前の立地を活かした施設利用の促進を目的に令和5年10月にコワーキングスペースを設置した。	男女共同参画推進協議会の施策の第三者評価項目としてフチャールの運営について下半期に向けて検討をしている。またコワーキングスペースについては、月に150～200名ほど利用があった。	男女共同参画推進協議会の施策の第三者評価項目としてフチャールの運営について検討を行い、協議会から「利用しやすい環境の整備を進めること。」と答申書を受理した。		
		予定	引き続き、男女共同参画推進協議会の施策の第三者評価項目として男女共同参画センター「フチャール」の運営について検討を行う。	引き続き、男女共同参画推進協議会の施策の第三者評価項目としてフチャールの運営について検討を行う。	引き続き、男女共同参画推進協議会の施策の第三者評価項目としてフチャールの運営について検討を行い、取組について評価する。	引き続き、男女共同参画推進協議会の施策の第三者評価項目としてフチャールの運営について検討を行う。また、設置したコワーキングスペースの検証を行い、新たな取組についても検討する。	引き続き、男女共同参画推進協議会の施策の第三者評価項目としてフチャールの運営について検討を行い、取組について評価する。	引き続き、フチャールの運営について、男女共同参画の拠点として、母子だけではなく、父子が利用できる授乳スペースの確保を検討する。		

[illegible]